

建築基準法第12条第1項の規定による定期調査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は、  
事実と相違ありません。

特定行政庁

様

令和 年 月 日

報告者氏名 NPO法人 磐田市スポーツ協会  
会長 高橋 一良

調査者氏名 藤森 聡

## 【1.所有者】

【イ.氏名のフリガナ】 イワタシチョウ クサチ ヒロアキ  
【ロ.氏名】 磐田市長 草地 博昭  
【ハ.郵便番号】 438-8650  
【ニ.住所】 磐田市国府台3-1  
【ホ.電話番号】 0538-37-2111

## 【2.管理者】

【イ.氏名のフリガナ】 エヌピーオーホウジン イワタシスポーツキョウカイ カイチョウ タカハシ カズヨシ  
【ロ.氏名】 NPO法人 磐田市スポーツ協会 会長 高橋 一良  
【ハ.郵便番号】 438-0086  
【ニ.住所】 磐田市見付4075  
【ホ.電話番号】 0538-33-3443

## 【3.調査者】

（代表となる調査者）

【イ.資格】（1級）建築士 （大臣）登録第 190811 号  
特定建築物調査員 第 号

【ロ.氏名のフリガナ】 フジモリ サトシ  
【ハ.氏名】 藤森 聡  
【ニ.勤務先】 藤森聡 建築設計室

（1級）建築士事務所

（静岡県）知事登録第（8）3886号

【ホ.郵便番号】 438-0086  
【ヘ.所在地】 磐田市見付2843  
【ト.電話番号】 0538-37-7271

（その他の調査者）

【イ.資格】（ ）建築士 （ ）登録第 号  
特定建築物調査員 第 号

【ロ.氏名のフリガナ】

【ハ.氏名】

【ニ.勤務先】

（ ）建築士事務所

（ ）知事登録第

号

【ホ.郵便番号】

【ヘ.所在地】

【ト.電話番号】

## 【4.報告対象建築物】

【イ.所在地】 磐田市大久保 892-38 外25筆  
【ロ.名称のフリガナ】 イワタスポーツコウリユウノサト ユメリア  
【ハ.名称】 磐田スポーツ交流の里ゆめりあ  
【ニ.用途】 集会所

## 【5.調査による指摘の概要】

【イ.指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり（☐ 既存不適格） ☒ 指摘なし

【ロ.指摘の概要】

【ハ.改善予定の有無】 ☐ 有（令和 年 月に改善予定） ☐ 無

【ニ.その他特記事項】

返却先	住所	磐田市見付2843	※受取（発送）欄
	法人名・氏名	藤森聡 建築設計室 藤森 聡	
	電話番号	0538-37-7271 (090-3588-0150)	
返却方法 (いづれかに○印)	<input checked="" type="radio"/> 窓口受取 ・ <input type="radio"/> 郵送	※郵送希望の場合は、返信用封筒（返却先を記載し、必要な切手を貼付したもの）を提出してください。	
※受付欄 平成 年 月 日 第 号	※特記欄		※整理番号欄

※ 白の欄は記入しないでください。

## 建築物及びその敷地に関する事項

## 【1. 敷地の位置】

【イ. 防火地域等】 ☐ 防火地域 ☐ 準防火地域  
☐ その他 ( ) ■ 指定なし  
 【ロ. 用途地域】 都市計画公園

## 【2. 建築物及びその敷地の概要】

【イ. 構造】 ☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造  
☒ 鉄骨造 ☐ その他 ( )  
 【ロ. 階数】 地上 2階 地下 階  
 【ハ. 敷地面積】 44660.00m<sup>2</sup>  
 【ニ. 建築面積】 964.11m<sup>2</sup>  
 【ホ. 延べ面積】 938.74m<sup>2</sup>

## 【3. 階別用途別床面積】

階別用途別	用途	床面積
【イ. 階別用途別】 ( 2 階 )	( 集会所 )	( 449.05m <sup>2</sup> )
	( )	( m <sup>2</sup> )
	( )	( m <sup>2</sup> )
( 1 階 )	( 集会所 )	( 489.69m <sup>2</sup> )
	( )	( m <sup>2</sup> )
( 階 )	( )	( m <sup>2</sup> )
( 階 )	( )	( m <sup>2</sup> )
( 階 )	( )	( m <sup>2</sup> )
( 階 )	( )	( m <sup>2</sup> )
( 階 )	( )	( m <sup>2</sup> )
【ロ. 用途別】 ( 集会所 )	( )	( 938.74m <sup>2</sup> )
	( )	( m <sup>2</sup> )
	( )	( m <sup>2</sup> )

## 【4. 性能検証法等の適用】

☐ 耐火性能検証法 ☐ 防火区画検証法  
☐ 階避難安全検証法 ( 階 ) ☐ 全館避難安全検証法  
☐ その他 ( )

## 【5. 増築、改築、用途変更等の経過】

昭和・平成 年 月 日 概要 ( )  
 昭和・平成 年 月 日 概要 ( )  
 昭和・平成 年 月 日 概要 ( )  
 昭和・平成 年 月 日 概要 ( )

## 【6. 関連図書の整備状況】

【イ. 確認に要した図書】 ■ 有 ( ■ 各階平面図あり ) ☐ 無  
 【ロ. 確認済証】 ■ 有 ☐ 無  
 交付番号 平成13年 3月 30日 第 03115 号  
 交付者 ■ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ( )  
 【ハ. 完了検査に要した図書】 ■ 有 ☐ 無  
 【ニ. 検査済証】 ■ 有 ☐ 無  
 交付番号 平成14年 2月 8日 第 01381 号  
 交付者 ■ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ( )  
 【ホ. 維持保全に関する準則又は計画】 ☐ 有 ■ 無  
 【ヘ. 前回の調査に関する書類の写し】 ■ 有 ☐ 無 ☐ 対象外

## 【7. 備考】

## 調査等の概要

## 【1. 調査及び検査の状況】

【イ. 今回の調査】	令和 6年 11月 19日 実施		
【ロ. 前回の調査】	■実施 (令和 4年 11月 16日 報告)	□未実施	
【ハ. 建築設備の検査】	■実施 (令和 5年 11月 30日 報告)	□未実施	□対象外
【ニ. 昇降機等の検査】	□実施 (令和 年 月 日 報告)	□未実施	□対象外
【ホ. 防火設備の検査】	□実施 (令和 年 月 日 報告)	□未実施	□対象外

## 【2. 調査の状況】

(敷地及び地盤)

【イ. 指摘の内容】	□要是正の指摘あり (□既存不適格)	■指摘なし
【ロ. 指摘の概要】		
【ハ. 改善予定の有無】	□有 (改修工事中)	□無

(建築物の外部)

【イ. 指摘の内容】	□要是正の指摘あり (□既存不適格)	■指摘なし
【ロ. 指摘の概要】		
【ハ. 改善予定の有無】	□有 (改修工事中)	□無

(屋上及び屋根)

【イ. 指摘の内容】	□要是正の指摘あり (□既存不適格)	■指摘なし
【ロ. 指摘の概要】		
【ハ. 改善予定の有無】	□有 (平成 年 月に改善予定)	□無

(建築物の内部)

【イ. 指摘の内容】	□要是正の指摘あり (□既存不適格)	■指摘なし
【ロ. 指摘の概要】		
【ハ. 改善予定の有無】	□有 (平成 年 月に改善予定)	□無

(避難施設等)

【イ. 指摘の内容】	□要是正の指摘あり (□既存不適格)	■指摘なし
【ロ. 指摘の概要】		
【ハ. 改善予定の有無】	□有 (平成 年 月に改善予定)	□無

(その他)

【イ. 指摘の内容】	□要是正の指摘あり (□既存不適格)	■指摘なし
【ロ. 指摘の概要】		
【ハ. 改善予定の有無】	□有 (平成 年 月に改善予定)	□無

## 【3. 石綿を添加した建築材料の調査状況】 (該当する室)

【イ. 該当建築材料の有無】	□有 (飛散防止措置無) ( )	
	□有 (飛散防止措置有) ( )	
	■無	
【ロ. 措置予定の有無】	□有 (平成 年 月に改善予定)	□無

## 【4. 耐震診断及び耐震改修の調査状況】

【イ. 耐震診断の実施の有無】	□有	□無 (平成 年 月に実施予定)	■対象外
【ロ. 耐震改修の実施の有無】	□有	□無 (平成未定年 月に実施予定)	■対象外

## 【5. 建築物等に係る不具合等の状況】

【イ. 不具合等】	□有	■無	
【ロ. 不具合等の記録】	□有	□無	
【ハ. 改善の状況】	□実施済	□改善予定 (平成 年 月に改善予定)	□予定なし

## 【6. 備考】

不具合等を把握した年月	不具合等の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

## (注意)

## 1. 各面共通関係

- ① ※印のある欄は記入しないでください。
- ② 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- ③ 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入し添えてください。

## 2. 第一面関係

- ① 報告者又は調査者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- ② 調査者が2人以上のときは、代表となる調査者を調査者氏名欄に記入してください。
- ③ 1欄及び2欄は、所有者又は管理者が法人のときは、「ロ」はそれぞれ法人の名称及び代表者氏名を、「ニ」はそれぞれ法人の所在地を記入してください。
- ④ 3欄は、代表となる調査者及び当該建築物の調査を行ったすべての調査者について記入してください。当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、その他の調査者欄は削除して構いません。
- ⑤ 3欄の「イ」は、調査者の有する資格について記入してください。調査者が特定建築物調査員である場合は、特定建築物調査員資格者証の交付番号を「特定建築物調査員」の番号欄に記入してください。
- ⑥ 3欄の「ニ」は、調査者が法人に勤務している場合は、調査者の勤務先について記入し、勤務先が建築士事務所の場合は、事務所登録番号を併せて記入してください。
- ⑦ 3欄の「ホ」から「ト」までは、調査者が法人に勤務している場合は、調査者の勤務先について記入し、調査者が法人に勤務していない場合は、調査者の住所について記入してください。
- ⑧ 第三面の2欄のいずれかの「イ」において「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、5欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外のときは、「指摘なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第三面の2欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたものの全てにおいて、「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、併せて5欄の「イ」の「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑨ 5欄の「ロ」は、指摘された事項のうち特に報告すべき事項があれば記入してください。
- ⑩ 5欄の「ハ」は、第三面の2欄のいずれかの「ハ」において改善予定があるとしているときは「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第三面の2欄の「ハ」に記入された改善予定年月のうち最も早いものを併せて記入してください。
- ⑪ 5欄の「ニ」は、指摘された事項以外に特に報告すべき事項があれば記入してください。

### 3. 第二面関係

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 敷地が複数の地域にまたがるときは、1欄の「イ」は、該当するすべてのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。建築基準法第22条第1項の規定により地域指定がされている場合、災害危険区域に指定されている場合その他建築基準法又はそれに基づく命令により地域等の指定がされている場合は、「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せてその内容を記入して下さい。
- ③ 1欄の「ロ」は、該当する用途地域名を全て記入してください。
- ④ 2欄の「イ」は、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。なお、その他の構造からなる場合には、「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて具体的な構造を記入してください。
- ⑤ 3欄の「イ」は、建築基準法別表第一(イ)欄に掲げる用途に供する部分について、最上階から順に記入し、当該用途に供する部分の床面積を記入してください。ただし、特定行政庁が報告の必要がある用途を定めている場合には、その用途について記入して下さい。該当する用途が複数あるときは、それらを全て記入してください。
- ⑥ 3欄の「ロ」は、「イ」の用途ごとに床面積の合計を記入してください。
- ⑦ 4欄は、建築基準法施行令第108条の3第2項に規定する耐火性能検証法により耐火に関する性能が検証されたときは「耐火性能検証法」のチェックボックスに、同令第108条の3第5項に規定する防火区画検証法により遮炎に関する性能が検証されたときは「防火区画検証法」のチェックボックスに、同令第129条第3項に規定する階避難安全検証法により階避難安全性能が検証されたときは「階避難安全検証法」のチェックボックスに、同令第129条の2第3項に規定する全館避難安全検証法により全館避難安全性能が検証されたときは「館避難安全検証法」のチェックボックスに、それぞれ「レ」マークを入れ、「階避難安全検証法」の場合には、併せて階避難安全性能を検証した階を記入してください。建築基準法第38条（同法第67条の2、第67条の4及び第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定による特殊構造方法等認定、同法第68条の25第1項の規定による構造方法等の認定又は建築基準法の一部を改正する法律（平成10年法律第100号）による改正前の建築基準法第38条の規定による認定を受けている建築物のうち、当該適用について特に報告が必要なものについては「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、その概要を記入してください。
- ⑧ 5欄は、前回調査時以降の建築（新築を除く。）、模様替え、修繕又は用途の変更（以下「増築、改築、用途変更等」という。）について、古いものから順に記入し、確認（建築基準法第6条第1項に規定する確認。以下同じ。）を受けている場合は建築確認済証交付年月日を、受けていない場合は増築、改築、用途変更等が完了した年月日を、併せて記入し、それぞれ増築、改築、用途変更等の概要を記入してください。
- ⑨ 6欄の「イ」は、最近の確認について、当該確認に要した図書の全部又は一部があるときは「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、そのうち各階平面図のみがあるときは併せて「各階平面図あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑩ 前回調査時以降に把握した屋根ふき材、内装材、外装材等及び広告塔、装飾塔その他建築物の屋外に取り付けられたものの脱落、バルコニー、屋上等の手すりその他建築物の部分の脱落等（以下「不具合等」という。）について第四面の「不具合等の概要」欄に記入したときは、5欄の「イ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該不具合等について記録が有るときは「ロ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、記録が無いときは「ロ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第四面に記入された不具合等のうち当該不具合等を受け既に改善を実施しているものがあり、かつ、改善を行う予定があるものがない場合には「ハ」の「実施済」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第四面に記入された不具合等のうち改善を行う予定があるものがある場合には「改善予定」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第四面の「改善（予定）年月」欄に記入された改善予定年月のうち最も早いものを併せて記入し、これら以外の場合には「予定なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑪ 6欄の「ハ」は、直近の完了検査について、当該完了検査に要した図書の全部又は一部があるときは「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑫ 6欄の「ニ」は、（注意）⑩に準じて記入してください。
- ⑬ 6欄の「ホ」は、建築基準法第8条第2項に規定する維持保全に関する準則又は計画について記入してください。
- ⑭ 6欄の「ヘ」は、前回の定期調査の結果を記録した書類の保存の有無について記入してください。
- ⑮ 建築基準法第86条の8の規定の適用を受けている場合において、7欄にその旨を記載してください。
- ⑯ ここに書き表せない事項で特に報告すべき事項は、7欄又は別紙に記載して添えてください。

#### 4. 第三面関係

- ① この書類は、建築物ごとに、当該建築物の敷地、構造及び建築設備の状況（別途建築設備の検査を行っている場合は建築設備の設置の状況に係るものに限る。）に関する調査の結果について作成してください。
- ② 1 欄の「イ」は、調査が終了した年月日を記入してください。
- ③ 1 欄の「ロ」から「ホ」までは、報告の対象となっていない場合には「未実施」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ④ 1 欄の「ハ」から「ホ」までは、直前の報告について、それぞれ記入してください。
- ⑤ 2 欄の「イ」は、調査結果において、是正が必要と認められるときは「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、建築基準法第3条第2項（同法第86条の9第1項において準用する場合を含む。）の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑥ 2 欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたとき（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときを除く。）は、「ロ」に指摘の概要を記入して下さい。
- ⑦ 2 欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れた当該指摘をうけた項目について改善予定があるときは「ハ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入してください。改善予定がないときは「ハ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑧ 3 欄は、建築基準法第28条の2の規定の適用を受ける石綿を添加した建築材料について記入してください。「イ」の「有（飛散防止措置無）」又は「有（飛散防止措置有）」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、当該建築材料が確認された室を記入してください。当該建築材料について飛散防止措置を行う予定があるときは、「ロ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて措置予定年月を記入してください。措置を行う予定がないときは、「ロ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑨ 4 欄は、建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成7年法律第123号）第2条第1項又は第2項に規定する耐震診断又は耐震改修の実施の有無について記入してください。耐震診断又は耐震改修の実施の予定があるときは、実施予定年月を記入し、具体的な耐震改修の内容を定めている場合は別紙に記入し添えてください。
- ⑩ 前回調査時以降に把握した屋根ふき材、内装材、外装材等及び広告塔、装飾塔その他建築物の屋外に取り付けられたものの脱落、バルコニー、屋上等の手すりその他建築物の部分の脱落、防火設備等の異常動作等（以下、「不具合等」という。）について第四面の「不具合等の概要」欄に記入したときは、5 欄の「イ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該不具合等について記録が有るときは「ロ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、記録が無いときは「ロ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第四面に記入された不具合等のうち当該不具合等を受け既に改善を実施しているものがあり、かつ、改善を行う予定があるものがない場合には「ハ」の「実施済」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第四面に記入された不具合等のうち改善を行う予定があるものがある場合には「改善予定」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第四面の「改善（予定）年月」欄に記入された改善予定年月のうち最も早いものを併せて記入し、これら以外の場合には「予定なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑪ 各欄に掲げられている項目以外で特に報告すべき事項は、6 欄又は別紙に記入して添えてください。

#### 5. 第四面関係

- ① 第四面は、前回調査時以降に把握した建築物等に係る不具合等のうち第三面の2 欄において指摘されるもの以外のものについて、把握できる範囲において記入してください。前回調査時以降の不具合等を把握していない場合は、第四面を省略することができます。
- ② 「不具合等を把握した年月」欄は、当該不具合等を把握した年月を記入してください。
- ③ 「不具合等の概要」欄は、当該不具合等の概要を記入してください。
- ④ 「考えられる原因」欄は、当該不具合等が生じた原因として考えられるものを記入してください。
- ⑤ 「改善（予定）年月」欄は、既に改善を実施している場合には実施年月を、改善を行う予定がある場合には改善予定年月を記入し、改善を行う予定がない場合には「－」マークを記入してください。
- ⑥ 「改善措置の概要等」欄は、既に改善を実施している場合又は改善を行う予定がある場合に、具体的な措置の概要を記入してください。改善を行う予定がない場合には、その理由を記入してください。



## 調査結果表

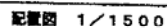
当該調査に 関与した調 査者	氏 名		調査者番号
	代表となる調査者	藤森 聡	
	その他の調査者		

番号	調 査 項 目		調査結果			担当 調査者 番号
			指摘 なし	要是正	既 存 不適格	
1	敷地及び地盤					
(1)	地盤	地盤沈下等による不陸、傾斜等の状況	○			1
(2)	敷地	敷地内の排水の状況	○			1
(3)	敷地内の通路	敷地内の通路の確保の状況	○			1
(4)		有効幅員の確保の状況	○			1
(5)		敷地内の通路の支障物の状況	○			1
(6)	塀	組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の耐震対策の状況				
(7)		組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の劣化及び損傷の状況				
(8)	擁壁	擁壁の劣化及び損傷の状況				
(9)		擁壁の水抜きパイプの維持保全の状況				
2	建築物の外部					
(1)	基礎	基礎の沈下等の状況	○			1
(2)		基礎の劣化及び損傷の状況	○			1
(3)	土台（木造に限る。）	土台の沈下等の状況				
(4)		土台の劣化及び損傷の状況				
(5)	外 壁	外壁、軒裏及び外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の防火対策の状況	○			1
(6)	躯体等	木造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
(7)		組積造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
(8)		補強コンクリートブロック造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
(9)		鉄骨造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
(10)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	○			1
(11)	外装仕上げ材等	タイル、石貼り等（乾式工法によるものを除く。）、モルタル等の劣化及び損傷の状況	○			1
(12)		乾式工法によるタイル、石貼り等の劣化及び損傷の状況				
(13)		金属系パネル（横壁を含む。）の劣化及び損傷の状況	○			1
(14)		コンクリート系パネル（縦壁を含む。）の劣化及び損傷の状況				
(15)	窓サッシ等	サッシ等の劣化及び損傷の状況	○			1
(16)		はめ殺し窓のガラスの固定の状況	○			1
(17)	外壁に緊結された広告板、空調室外機等	機器本体の劣化及び損傷の状況	○			1
(18)		支持部分等の劣化及び損傷の状況	○			1
3	屋上及び屋根					
(1)	屋上面	屋上面の劣化及び損傷の状況	○			1
(2)	屋上周り（屋上面を除く。）	パラペットの立上り面の劣化及び損傷の状況	○			1
(3)		空モルタル等の劣化及び損傷の状況	○			1
(4)		金属笠木の劣化及び損傷の状況	○			1
(5)		排水溝（ドレーンを含む。）の劣化及び損傷の状況	○			1
(6)	屋根（屋上面を除く。）	屋根の防火対策の状況	○			1
(7)		屋根の劣化及び損傷の状況	○			1
(8)	機器及び工作物（冷却等設備、広告塔等）	機器、工作物本体及び接合部の劣化及び損傷の状況	○			1
(9)		支持部分等の劣化及び損傷の状況	○			1
4	建築物の内部					
(1)	防火区画	令第112条第11項から第13項までに規定する区画の状況	⊖			1
(2)		令第112条第1項、第4項、第5項又は第7項から第10項までの各項に規定する区画の状況	⊖			1
(3)		令第112条第18項に規定する区画の状況	⊖			1
(4)		防火区画の外周部				
(5)		令第112条第16項に規定する外壁等及び同条第17項に規定する防火設備の処置の状況	⊖			1
(6)		令第112条第16項に規定する外壁等及び同条第17項に規定する防火設備の劣化及び損傷の状況	⊖			1
(7)	壁の室内に面する部分	木造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況				
(8)	躯体等	組積造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況				
(9)		補強コンクリートブロック造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況				
(10)		鉄骨造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況				
(11)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	○			1
(12)	耐火構造の壁又は準耐火構造の壁（防火区画を構成する壁等に限る。）	準耐火性能等の確保の状況	○			1
(13)		部材の劣化及び損傷の状況	○			1
		鉄骨の耐火被覆の劣化及び損傷の状況				

(14)		給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況	○		1
(15)	令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁	令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁の状況	○		1
(16)	令第128条の5各項に規定する建築物の壁の室内に面する部分	室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況	○		1
(17)	床 躯体等	木造の床躯体の劣化及び損傷の状況			
(18)		鉄骨造の床躯体の劣化及び損傷の状況			
(19)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の床躯体の劣化及び損傷の状況	○		1
(20)	耐火構造の床又は準耐火構造の床（防火区画を構成する床に限る。）	準耐火性能等の確保の状況	○		1
(21)		部材の劣化及び損傷の状況	○		1
(22)		給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況	○		1
(23)	天井 令第128条の5各項に規定する建築物の天井	室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況	○		1
(24)	の室内に面する部分	室内に面する部分の仕上げの劣化及び損傷の状況	○		1
(25)	特定天井	特定天井の天井材の劣化及び損傷の状況			
(26)	防火設備（防火扉、防火シャッターその他これらに類するものに限る。）又は戸	区画に対応した防火設備又は戸の設置の状況	⊗		1
(27)		居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備又は戸におけるくぐり戸の設置の状況	⊗		1
(28)		昭和48年建設省告示第2563号第1第1号ロに規定する基準への適合の状況	⊗		1
(29)		防火扉又は戸の開放方向	⊗		1
(30)		常閉防火設備等の本体と枠の劣化及び損傷の状況			
(31)		常閉防火設備等の閉鎖又は作動の状況			
(32)		常閉防火設備等の閉鎖又は作動の障害となる物品の放置の状況			
(33)		常閉防火扉等の固定の状況			
(34)	照明器具、懸垂物等	照明器具、懸垂物等の落下防止対策の状況	○		1
(35)		防火設備又は戸の閉鎖の障害となる照明器具、懸垂物等の状況	○		1
(36)	警報設備	警報設備の設置の状況	○		1
(37)		警報設備の劣化及び損傷の状況	○		1
(38)	居室の採光及び換気	採光のための開口部の面積の確保の状況	○		1
(39)		採光の妨げとなる物品の放置の状況	○		1
(40)		換気のための開口部の面積の確保の状況	○		1
(41)		換気設備の設置の状況	○		1
(42)		換気設備の作動の状況	○		1
(43)		換気の妨げとなる物品の放置の状況	○		1
(44)	石棉等を添加した建築材料	吹付け石棉及び吹付けロックウールでその含有する石棉の重量が当該建築材料の重量の0.1パーセントを超えるもの（以下「吹付け石棉等」という。）の使用の状況			
(45)		吹付け石棉等の劣化の状況			
(46)		除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止措置の実施の状況			
(47)		囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及び損傷の状況			
<b>5 避難施設等</b>					
(1)	令第120条第2項に規定する通路	令第120条第2項に規定する通路の確保の状況	○		1
(2)	廊下	幅員の確保の状況	○		1
(3)		物品の放置の状況	○		1
(4)	出入口	出入口の確保の状況	○		1
(5)		物品の放置の状況	○		1
(6)	屋上広場	屋上広場の確保の状況			
(7)	避難上有効なバルコニー	避難上有効なバルコニーの確保の状況	○		1
(8)		手すり等の劣化及び損傷の状況	○		1
(9)		物品の放置の状況	○		1
(10)		避難器具の操作性の確保の状況	○		1
(11)	階段	直通階段の設置の状況	○		1
(12)		幅員の確保の状況	○		1
(13)		手すりの設置の状況	○		1
(14)		物品の放置の状況	○		1
(15)		階段各部の劣化及び損傷の状況	○		1
(16)	屋内に設けられた避難階段	階段室の構造の確保の状況	○		1
(17)	屋外に設けられた避難階段	屋内と階段との間の防火区画の確保の状況			
(18)		開放性の確保の状況			
(19)	特別避難階段	バルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況			
(20)		付室等の排煙設備の設置の状況			
(21)		付室等の排煙設備の作動の状況			
(22)		付室等の外気に向かって開くことができる窓の状況			
(23)		物品の放置の状況			
(24)	排煙壁	防煙区画の設置の状況	○		1
(25)		防煙垂れ壁の劣化及び損傷の状況	○		1
(26)		可動式防煙垂れ壁の作動の状況			
(27)	排煙設備	排煙設備の設置の状況			

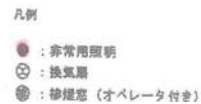


- ① この書類は、特殊建築物等ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該調査に関与した調査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の2様式第一面3欄に記入した調査者について記入し、「調査者番号」欄に調査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、その他の調査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当調査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「調査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各調査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「調査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる調査項目について（は）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当調査者番号」欄は、「調査に関与した調査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 7「上記以外の調査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が調査項目を追加したときに、特定行政庁が追加した調査項目を追加し、⑤から⑧に準じて調査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、7は削除して構いません。
- ⑪ 「その他確認事項」は、法第12条第3項の規定による検査を要する随時閉鎖又は作動ができる防火設備の設置の有無を確認し、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。「有」の場合は、当該防火設備が設置されている階を記入してください。
- ⑫ 「特記事項」は、調査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する調査項目の番号、調査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を、改善後で記入してください。
- ⑬ 配置図及び各階平面図を別添1の様式に従い添付し、指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所や撮影した写真の位置等を明記してください。
- ⑭ 要是正とされた調査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付してください。



注) 配置図及び各階平面図を添付し、指摘のあった箇所(特記すべき事項を含む)や撮影した写真の位置等を明記すること。

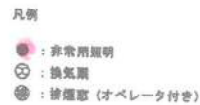
番号	調査項目
1	敷地及び地盤
(1)	地盤
(2)	空地
(3)から(5)	敷地内の通路
(6)から(7)	塀等
(8)から(9)	擁壁
2	建築物の外部
(1)から(2)	基礎
(3)から(4)	土台（木造に限り。）
(5)から(18)	外壁
3	屋上及び屋根
(1)	屋上面の状況
(2)から(5)	屋上周りの状況（屋上面を除く。）
(6)から(7)	屋根（屋上面を除く。）
(8)から(9)	換気及び工作物（冷却等設備、等）
4	建築物の内部
(1)から(5)	防火区画
(6)から(16)	畳の室内に面する部分
(17)から(22)	床
(23)から(28)	天井
(26)から(33)	防火設備又は戸
(34)から(35)	照明器具、懸垂物等
(36)から(37)	警報設備
(38)から(43)	居室の採光及び換気
(44)から(47)	石壁等を添加した壁面材料
5	避難施設等
(1)	令第120条第2項に規定する通路
(2)から(3)	廊下
(4)から(5)	出入口
(6)	屋上広場
(7)から(10)	避難上有効なバルコニー
(11)から(23)	階段
(24)から(29)	避難設備等
(30)から(40)	その他の設備等
6	その他
(1)から(4)	特殊な構造等
(5)	避難設備
(6)から(9)	煙突
7	上記以外の調査項目



1階平面図 1/200

注) 配置図及び各階平面図を添付し、指摘のあった箇所(特記すべき事項を含む)や撮影した写真の位置等を明記すること。

番号	調査項目
1	敷地及び地盤
(1)	地盤
(2)	敷地
(3)から(5)	敷地内の通路
(6)から(7)	塙等
(8)から(9)	擁壁
2	建築物の外部
(1)から(2)	基礎
(3)から(4)	土台（木造に限る。）
(5)から(18)	外壁
3	屋上及び屋根
(1)	屋上面の状況
(2)から(5)	屋上周りの状況（屋上面を除く。）
(6)から(7)	屋根（屋上面を除く。）
(8)から(9)	機器及び工作物（冷却等设备、等）
4	建築物の内部
(1)から(5)	防火区画
(6)から(16)	壁の室内に面する部分
(17)から(22)	床
(23)から(25)	天井
(26)から(33)	防火設備又は戸
(34)から(35)	照明器具、懸垂物等
(36)から(37)	警報設備
(38)から(43)	居室の採光及び換気
(44)から(47)	石綿等を添加した建築材料
5	避難施設等
(1)	令第120条第2項に規定する通路
(2)から(3)	廊下
(4)から(5)	出入口
(6)	屋上広場
(7)から(10)	避難上有効なバルコニー
(11)から(23)	階段
(24)から(29)	避難設備等
(30)から(40)	その他の設備等
6	その他
(1)から(4)	特殊な構造等
(5)	避難設備
(6)から(9)	煙突
7	上記以外の調査項目



2階平面図 1/200

注) 配置図及び各階平面図を添付し、指摘のあった箇所(特記すべき事項を含む)や撮影した写真の位置等を明記すること。

番号	調査項目
1	敷地及び地盤
(1)	地盤
(2)	敷地
(3)から(5)	敷地内の道路
(6)から(7)	橋等
(8)から(9)	擁壁
2	建築物の外部
(1)から(2)	基礎
(3)から(4)	土台（木造に限る。）
(5)から(18)	外壁
3	屋上及び屋根
(1)	屋上面の状況
(2)から(5)	屋上周りの状況（屋上面を除く。）
(6)から(7)	屋根（屋上面を除く。）
(8)から(9)	機器及び工作物（冷却等設備、等）
4	建築物の内部
(1)から(5)	防火区画
(6)から(16)	壁の室内に面する部分
(17)から(22)	床
(23)から(25)	天井
(26)から(33)	防火設備又は戸
(34)から(35)	照明器具、懸垂物等
(36)から(37)	警報設備
(38)から(43)	居室の採光及び換気
(44)から(47)	石綿等を添加した建築材料
5	避難施設等
(1)	令第120条第2項に規定する通路
(2)から(3)	廊下
(4)から(5)	出入口
(6)	屋上広場
(7)から(10)	避難上有効なバルコニー
(11)から(23)	階段
(24)から(29)	避難設備等
(30)から(40)	その他の設備等
6	その他
(1)から(4)	特殊な構造等
(5)	避難設備
(6)から(9)	煙突
7	上記以外の調査項目



袋 土 建 号 外  
令和 6 年 12 月 11 日

(台帳番号: G-0229)

(建物名称: 磐田スポーツ交流の里ゆめりあ)

NPO 法人 磐田市スポーツ協会 代表 高橋 一良 様

静岡県袋井土木事務所長

建築設備（昇降機を除く）の定期報告結果について

あなたより、**建築基準法第 12 条第 3 項**の規定により報告された「定期検査報告書」の内容を確認しましたので、別添のとおり副本を返却いたします。

今後とも、適切な維持管理に努めていただきますようお願いいたします。

担 当: 建築住宅課

電話番号: 0538-42-3294

F A X: 0538-42-6419

メー ル: fukudo-kentiku@pref.shizuoka.lg.jp





## 第三十六号の四様式（第六条関係）（A4）

定期検査報告書  
（建築設備等（昇降機及び遊戯施設を除く。））

（第一面）

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

特定行政庁 静岡県知事 様

令和 年 月 日  
NPO法人 磐田市スポーツ協会  
報告者氏名 理事長 高橋 一良

検査者氏名 藤森 聡

## 【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】 イワタシヨウ クサチ ヒロアキ  
【ロ. 氏名】 磐田市長 草地 博昭  
【ハ. 郵便番号】 〒438-8650  
【ニ. 住所】 磐田市国府台 3-1  
【ホ. 電話番号】 0538-37-2111

## 【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】 エヌピーオーホウジン イワタシスポーツキョウカイ リンチョウ タカハシ カズヨシ  
【ロ. 氏名】 NPO法人 磐田市スポーツ協会 理事長 高橋 一良  
【ハ. 郵便番号】 〒438-0086  
【ニ. 住所】 磐田市見付4075  
【ホ. 電話番号】 0538-33-3443

## 【3. 報告対象建築物】

【イ. 所在地】 磐田市大久保892-38外25筆  
【ロ. 名称のフリガナ】 イワタスポーツコウリョウノサトユメリア  
【ハ. 名称】 磐田スポーツ交流の里ゆめりあ  
【ニ. 用途】 集会所

## 【4. 検査による指摘の概要】

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり（☐ 既存不適格） ☒ 指摘なし  
【ロ. 指摘の概要】  
【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有（令和 年 月に改善予定） ☐ 無  
【ニ. その他特記事項】

返却先	住所	〒438-0086 磐田市見付2843	※受取（発送）欄
	法人名・氏名	藤森聡建築設計室 藤森 聡	
	電話番号	0538-37-7271 (090-3588-0155)	
返却方法 (いずれかに○印)	<input checked="" type="checkbox"/> 受取 ・ <input type="checkbox"/> 郵送 <span>※郵送希望の場合は、返信用封筒（返却先を記載し、必要な切手を貼付したもの）を提出してください。</span>		
※受付欄	※特記欄		※整理番号欄
平成 28 年 6 月 11 日 静岡県 磐田市 建設委員会 係員印 6.11.28 号 係員印 6.11.28 号			

※印のある欄は記入しないでください。

## (第二面)

## 建築設備の状況等

## 【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 2 階 地下 階  
 【ロ. 建築面積】 789.07㎡  
 【ハ. 延べ面積】 983.74㎡  
 【ニ. 検査対象建築設備】 ■換気設備 □排煙設備 ■非常用の照明装置  
 □給水設備及び排水設備

## 【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 昭和・平成 13年 3月 30日 第H12年確認建築静岡県袋土03115号  
 【ロ. 確認済証交付者】 ■建築主事 □指定確認検査機関 ( )  
 【ハ. 検査済証交付年月日】 昭和・平成 14年 2月 8日 第H13確済建築静岡県袋土 01381号  
 【ニ. 検査済証交付者】 ■建築主事 □指定確認検査機関 ( )

## 【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 令和 6年 11月 19日実施  
 【ロ. 前回の検査】 ■実施 (令和 5年 11月 30日報告) □未実施  
 【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 ■有 □無

## 【4. 換気設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格等】 ( 1級 ) 建築士 ( 大臣 ) 登録第 190811 号  
 建築基準適合判定資格者  
 登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 163-1 号  
 【ロ. 氏名のフリガナ】 フジモリ サシ  
 【ハ. 氏名】 藤森 聡  
 【ニ. 勤務先】 藤森聡 建築設計室  
 (1級) 建築士事務所 ( 静岡県 ) 知事登録第 (8) 3886 号  
 【ホ. 郵便番号】 438-0086  
 【ヘ. 所在地】 磐田市見付2843  
 【ト. 電話番号】 0538-37-7271

(その他の検査者)

【イ. 資格等】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
 建築基準適合判定資格者  
 登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号  
 【ロ. 氏名のフリガナ】  
 【ハ. 氏名】  
 【ニ. 勤務先】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号  
 【ホ. 郵便番号】  
 【ヘ. 所在地】  
 【ト. 電話番号】

## 【5. 換気設備の概要】

【イ. 無窓居室】 □自然換気設備 ( 系統 室) □機械換気設備 ( 系統 室)  
 □中央管理方式の空気調和設備 ( 系統 室)  
 □その他 ( 系統 室) ■無  
 【ロ. 火気使用室】 □自然換気設備 ( 系統 室) □機械換気設備 ( 系統 室)  
 □その他 ( 系統 室) ■無  
 【ハ. 居室等】 □自然換気設備 ( 系統 室) ■機械換気設備 ( 11系統 11室)  
 □中央管理方式の空気調和設備 ( 系統 室)  
 □その他 ( 系統 室) □無  
 【ニ. 空気調和設備・冷暖房設備】 □個別パッケージ □全空気 ■ヒートポンプ  
 □ファンコイルユニット併用 □その他 ( )

## 【6. 換気設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 □要是正の指摘あり (□既存不適格) ■指摘なし  
 【ロ. 指摘の概要】  
 【ハ. 改善予定の有無】 □有 (平成 年 月に改善予定) □無

## 【7. 換気設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 □有 ■無  
 【ロ. 不具合記録】 □有 □無  
 【ハ. 改善の状況】 □実施済 □改善予定 (平成 年 月に改善予定) □予定なし



【8. 排煙設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格等】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
 建築基準適合判定資格者 第 号  
 登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格等】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
 建築基準適合判定資格者 第 号  
 登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【9. 排煙設備の概要】

【イ. 避難安全検証法】 ☐ 階避難安全検証法 ( 階) ☐ 全館避難安全検証法 ☐ 適用なし  
 【ロ. 特別避難階段の付室】 ☐ 吸引式 ( 区画) ☐ 給気式 ( 区画) ☐ 無  
 【ハ. 非常用エレベーターの乗降ロビー】 ☐ 吸引式 ( 区画) ☐ 給気式 ( 区画) ☐ 無  
 【ニ. 居室等】 ☐ 吸引式 ( 区画) ☐ 給気式 ( 区画) ☐ 無  
 【ホ. 予備電源】 ☐ 蓄電池 ☐ 自家用発電装置 ☐ 直結エンジン ☐ 無

【10. 排煙設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり ( ☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無

【11. 排煙設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☐ 無

【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☐ 無

【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (平成 年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【12. 非常用の照明装置の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格等】 ( 1級 ) 建築士 ( 大臣 ) 登録第 190811 号  
 建築基準適合判定資格者 第 号  
 登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 163-1 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 フジモリ サトシ

【ハ. 氏名】 藤森 聡

【ニ. 勤務先】 藤森聡 建築設計室

( 1級 ) 建築士事務所 ( 静岡県 ) 知事登録第 (8) 3886 号

【ホ. 郵便番号】 438-0086

【ヘ. 所在地】 磐田市見付2843

【ト. 電話番号】 0538-37-7271

(その他の検査者)

【イ. 資格等】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
 建築基準適合判定資格者 第 号  
 登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【13. 非常用の照明装置の概要】

- 【イ. 照明器具】 ☒ 白熱灯 ( 17 灯 ) ☐ 蛍光灯 ( 灯 ) ☐ 高輝度放電灯 ( 灯 ) ☐ 無
- 【ロ. 予備電源】 ☒ 蓄電池 (内蔵形) (居室 7 灯、廊下 9 灯、階段 1 灯)
- ☐ 蓄電池 (別置形) (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
- ☐ 自家発電装置 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
- ☐ 蓄電池 (別置形)・自家発電装置併用 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
- ☐ 無

【14. 非常用の照明装置の検査の状況】

- 【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり ( ☐ 既存不適格 ) ☒ 指摘なし
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 ( 令和 年 月に改善予定 ) ☐ 無

【15. 非常用の照明装置の不具合の発生状況】

- 【イ. 不具合】 ☐ 有 ☒ 無
- 【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☐ 無
- 【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 ( 平成 年 月に改善予定 ) ☐ 予定なし

16. 給水設備及び排水設備の検査者

(代表となる検査者)

【イ. 資格等】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築基準適合判定資格者 第 号  
登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

【ホ. 郵便番号】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格等】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築基準適合判定資格者 第 号  
登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

【ホ. 郵便番号】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

検査対象外

17. 給水設備及び排水設備の検査内容

- 【イ. 飲料水の配管設備】 ☐ 給水タンク ( 基 品 ) ☐ 貯水タンク ( 基 品 )
- ☐ その他 ( )
- 【ロ. 排水設備】 ☐ 排水槽 ☐ 汚水槽 ☐ 糞排水槽 ☐ 合併槽 ☐ 雨水槽・湧水槽
- ☐ 排水再利用配管設備 ☐ その他 ( )
- 【ハ. 圧力タンクの有無】 ☐ 有 ☐ 無
- 【ニ. 給湯方式】 ☐ 局所式 ☐ 中央式
- 【ホ. 燃焼器】 ☐ 開放式燃焼器 ☐ 半密閉式燃焼器 ☐ 密閉式燃焼器
- ☐ その他 ( )

18. 給水設備及び排水設備の検査の状況

- 【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり ( ☐ 既存不適格 ) ☐ 指摘なし
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 ( 平成 年 月に改善予定 ) ☐ 無

19. 給水設備及び排水設備の不具合の発生状況

- 【イ. 不具合】 ☐ 有 ☐ 無
- 【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☐ 無
- 【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 ( 平成 年 月に改善予定 ) ☐ 予定なし

【20. 備考】

## 建築設備に係る不具合の状況

## 【1. 換気設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

## 【2. 排煙設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

## 【3. 非常用の照明装置】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

## 【4. 給水設備及び排水設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等
検査対象外				

(注意)

1. 各面共通関係

- ① ※印のある欄は記入しないでください。
- ② 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- ③ 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入し添えてください。

2. 第一面関係

- ① 報告者又は検査者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- ② 検査者が2人以上のときは、代表となる検査者を検査者氏名欄に記入してください。
- ③ 1欄及び2欄は、所有者又は管理者が法人のときは、「ロ」はそれぞれ法人の名称及び代表者氏名を、「ニ」はそれぞれ法人の所在地を記入してください。
- ④ 第二面の6欄、10欄、14欄又は18欄のいずれかの「イ」において「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れた場合においては、4欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外のときは、「指摘なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第二面の6欄、10欄、14欄及び18欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたものの全てにおいて、「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、併せて4欄の「イ」の「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤ 4欄の「ロ」は、指摘された事項のうち特に報告すべき事項があれば記入してください。
- ⑥ 4欄の「ハ」は、第二面の6欄、10欄、14欄又は18欄のいずれかの「ロ」において改善予定があるとしているときは「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第二面の6欄、10欄、14欄又は18欄の「ロ」に記入されている改善予定年月のうち最も早いものを併せて記入してください。
- ⑦ 4欄の「ニ」は、指摘された事項以外に特に報告すべき事項があれば記入してください。

3. 第二面関係

- ① この書類は、建築物ごとに、建築設備等の概要及び当該建築設備等の構造方法に係る検査結果について作成してください。
- ② 1欄の「ニ」は、検査対象の建築設備について、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ③ 2欄の「イ」及び「ロ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の確認（建築基準法第87条の2及び同法第88条第2項の規定により準用して適用される同法第6条第1項に規定する確認。以下この様式において同じ。）について、「ハ」及び「ニ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の完了検査について、それぞれ記入してください。
- ④ 2欄の「ロ」及び「ニ」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入してください。
- ⑤ 3欄の「イ」は、検査が終了した年月日を記入し、「ロ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の報告について記入して下さい。
- ⑥ 3欄の「ロ」は、報告の対象となっていない場合には「未実施」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑦ 3欄の「ハ」は、前回の定期検査の結果を記録した書類の写しの保存の有無について記入してください。
- ⑧ 4欄から19欄までは、検査の対象となっていない建築設備等の欄には記入する必要はありません。
- ⑨ 4欄、8欄、12欄及び16欄は、代表となる検査者並びに検査に係る建築設備に係るすべての検査者について記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ⑩ 4欄、8欄、12欄及び16欄の「イ」は、検査者の有する資格等について記入してください。検査者が第4条の20第3項第二号に規定する登録建築設備検査資格者講習又は建築士法施行規則等の一部を改正する省令による改正前の第4条の20第4項に規定する国土交通大臣が指定する建築設備検査資格者として必要な知識及び技能を修得させるための講習を修了した者である場合は、その旨を証する書類に記載された番号を「登録建築設備検査資格者講習を修了した者」の番号欄に記入してください。
- ⑪ 4欄、8欄、12欄及び16欄の「ニ」は、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、勤務先が建築士事務所の場合は、事務所登録番号を併せて記入してください。
- ⑫ 4欄、8欄、12欄及び16欄の「ホ」から「ト」までは、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、検査者が法人に勤務していない場合は検査者の住所について記入してください。
- ⑬ 5欄の「イ」は、換気のための有効な部分の面積が居室の床面積の20分の1未満となる居室について、「ロ」は、建築基準法第28条第3項に規定する居室（特殊建築物の居室を除く。）について記入し、それぞれ該当する室がない場合においては「無」のチェックボックスに「レ」マー

クを入れ、「ハ」は、「イ」及び「ロ」以外の居室、廊下及び階段の用に供する部分について記入してください。

- ⑭ 5欄の「ニ」並びに17欄の「イ」、「ロ」及び「ホ」は、それぞれ該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「その他」の場合は併せて具体的な内容を記入してください。
- ⑮ 6欄、10欄、14欄及び18欄の「イ」は、検査結果において、是正が必要と認められるときは「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該指摘された箇所の全てに建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑯ 6欄、10欄、14欄及び18欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたとき（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）は、「ロ」に指摘の概要を記入してください。
- ⑰ 6欄、10欄、14欄及び18欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）、当該指摘をうけた項目について改善予定があるときは「ハ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入してください。改善予定がないときは「ハ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑱ 前回検査時以降に把握した火災時の排煙設備不作動等機器の故障、異常動作、損傷、腐食その他の劣化に起因するもの（以下、「不具合」という。）について第三面の1欄、2欄、3欄又は4欄の「不具合の概要」欄に記入したときは、7欄、11欄、15欄又は19欄の「イ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該不具合について記録が有るときは7欄、11欄、15欄又は19欄の「ロ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、記録が無いときは7欄、11欄、15欄又は19欄の「ロ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第三面の1欄、2欄、3欄又は4欄に記入された不具合のうち当該不具合を受けた改善を既に実施しているものがあり、かつ、改善を行う予定があるものがない場合には7欄、11欄、15欄又は19欄の「ハ」の「実施済」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第三面の1欄、2欄、3欄又は4欄に記入された不具合のうち改善を行う予定があるものがある場合には7欄、11欄、15欄又は19欄の「改善予定」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入し、改善の予定がない場合には7欄、11欄、15欄又は19欄の「予定なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑲ 9欄の「イ」は、建築基準法施行令第129条の2第3項に規定する階避難安全検証法により階避難安全性能が確かめられた建築物のときは「階避難安全検証法」のチェックボックスに、同令29条の2の2第3項に規定する全館避難安全検証法により全館避難安全性能が確かめられた建築物のときは「全館避難安全検証法」のチェックボックスに、それぞれ「レ」マークを入れ、「階避難安全検証法」の場合には、併せて階避難安全性能を確かめた階を記入してください。
- ⑳ 9欄の「ロ」及び「ハ」は、それぞれ該当する室がないときに「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、「ニ」は、「ロ」及び「ハ」以外の居室、廊下及び階段の用に供する部分について記入してください。
- ㉑ 各欄に掲げられている項目以外で特に報告すべき事項は、20欄又は別紙に記載して添えてください。

#### 4. 第三面関係

- ① 第三面の1欄、2欄、3欄又は4欄は、前回検査時以降に把握した建築設備に係る不具合のうち第二面の6欄、10欄、14欄又は18欄において指摘されるもの以外のものについて、把握できる範囲において記入してください。前回検査時以降不具合を把握していない場合は、第三面を省略することができます。
- ② 「不具合を把握した年月」欄は、当該不具合を把握した年月を記入してください。
- ③ 「不具合の概要」欄は、当該不具合の箇所を特定した上で、当該不具合の具体的内容を記入してください。
- ④ 「考えられる原因」欄は、当該不具合が生じた原因として主として考えられるものを記入してください。ただし、当該不具合が生じた原因が不明な場合は「不明」と記入してください。
- ⑤ 「改善(予定)年月」欄は、既に改善を実施している場合には実施年月を、改善を行う予定がある場合には改善予定年月を記入し、改善を行う予定がない場合には「－」を記入してください。
- ⑥ 「改善措置の概要等」欄は、既に改善を実施している場合又は改善を行う予定がある場合に、具体的措置の概要を記入してください。改善を行う予定がない場合には、その理由を記入してください。

検査結果表  
(換気設備)

当該検査に関与した検査者	氏名	検査者番号
	代表となる検査者	1
	その他の検査者	

番号	検査項目等			検査結果			担当 検査者 番号
				指摘 なし	要是正		
					既 存	不 適 格	
1	法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）						
(1)	機械換気設備	機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の外観	外気取り入れ口及び排気口への雨水等の防止措置の状況	○			1
(2)			外気取り入れ口及び排気口の取付けの状況	○			1
(3)			各室の給気口及び排気口の設置位置	○			1
(4)			給気口、排気口及び居室内の空気を取り入れ口の取付けの状況	○			1
(5)			風道の取付けの状況	○			1
(6)			風道の材質	○			1
(7)			給気機及び排気機の設置の状況	○			1
(8)			換気扇による換気の状況	○			1
(9)			機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の性能	各系統の換気量			
(10)	各室の換気量						
(11)	中央管理方式による制御及び作動状態の監視の状況						
(12)	中央管理方式の空気調和設備	空気調和設備の主要機器及び配管の外観	空気調和設備の設置の状況				
(13)			空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況				
(14)			空気調和設備の運転の状況				
(15)			空気ろ過器の点検口				
(16)			冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離				
(17)		空気調和設備の性能	各室内の温度				
(18)			各室内の相対湿度				
(19)			各室の浮遊粉じん量				
(20)			各室の一酸化炭素含有率				
(21)			各室の二酸化炭素含有率				
(22)		各室の気流					
(23)		各室の吹き出し空気の分配の状況					
2	換気設備を設けるべき調理室等						
(1)	自然換気設備及び機械換気設備		排気筒、排気フード及び煙突の材質				
(2)			排気筒、排気フード及び煙突の取付けの状況				
(3)			給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ				
(4)			給気口、排気口及び排気フードの位置				
(5)			給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の機能確保の状況				
(6)			排気筒及び煙突の断熱の状況				
(7)			排気筒及び煙突と可燃物、電線等との離隔距離				
(8)			煙突等への防火ダンパー、風道等の設置の状況				
(9)	自然換気設備	煙突の先端の立ち上がりの状況（密閉型燃焼器具の煙突を除く。）					
(10)	機械換気設備		排気筒に設ける防火ダンパーの設置の状況				
(11)			換気扇による換気の状況				
(12)		機械換気設備の換気量					
3	法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室						
(1)	防火ダンパー等		防火ダンパーの設置の状況				
(2)			防火ダンパーの取付けの状況				
(3)			防火ダンパーの作動の状況				
(4)			防火ダンパーの劣化及び損傷の状況				
(5)			防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無				
(6)			防火ダンパーの温度ヒューズ				
(7)			防火区画の貫通措置の状況				
(8)			運動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位置				
(9)			運動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との運動の状況				
4	上記以外の検査項目等						

### 特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の4様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 検査対象建築物に換気設備がない場合は、この様式は省略して構いません。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第一（ろ）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第一（ろ）欄に掲げる検査事項について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑪ 1(9)から(11)「居室等の機械換気設備の性能（中央管理方式の空気調和設備を含む）」については、法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（別表1）を添付してください。
- ⑫ 2(10)から(12)「機械換気設備」については、換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表（別表2）を添付してください。
- ⑬ 4「上記以外の調査項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が検査項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により検査の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した検査項目等又は第2第2項に規定する図書に記載されている検査項目等を追加し、⑥から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、4は削除して構いません。
- ⑭ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑮ 要是正とされた検査項目等（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。



検査結果表  
(非常用の照明装置)

当該検査に関与した検査者	氏名	検査者番号
	代表となる検査者 その他の検査者	1

番号	検査項目等		検査結果			担当 検査者 番号
			指摘 なし	要正		
				既 存	不 適合	
1	照明器具					
(1)	非常用の照明器具	使用電球、ランプ等	○			1
2	電池内蔵形の蓄電池、電圧別量形の蓄電池及び自家用発電装置					
(1)	予備電源	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況	○			1
(2)		予備電源の性能	○			1
(3)	照度	照度の状況	○			1
(4)	分電盤	非常用電源分岐回路の表示の状況	○			1
(5)	配線	配電管等の防火区画貫通措置の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	○			1
3	電圧別量形の蓄電池及び自家用発電装置					
(1)	配線	照明器具の取付状況及び配線の接続の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）				
(2)		電気回路の接続の状況				
(3)		接続部（ただし幹線分岐及びボックス内に限る。）の耐熱処理の状況				
(4)		予備電源から非常用の照明器具間の耐熱配線処理の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）				
(5)	切替回路	常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況				
(6)		蓄電池設備と自家用発電装置併用の場合の切替えの状況				
4	電池内蔵形の蓄電池					
(1)	配線及び充電ランプ	充電ランプの点灯の状況	○			1
(2)		誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況	○			1
5	電圧別量形の蓄電池					
(1)	蓄電池	蓄電池室の外観				
(2)		蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況				
(3)		換気の状況				
(4)		蓄電池の設置の状況				
(5)		蓄電池の性能				
(6)		電圧				
(7)		電解液比重				
(8)		電解液の温度				
(9)	充電器	充電器室の防火区画等の貫通措置の状況				
(10)		キュービクルの取付けの状況				
6	自家用発電装置					
(1)	自家用発電装置	自家用発電装置の外観				
(2)		自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況				
(3)		発電機の発電容量				
(4)		発電機及び原動機の状況				
(5)		燃料油、潤滑油及び冷却水の状況				
(6)		空気槽の圧力				
(7)		セル始動用蓄電池の電解液及び電気ケーブルの接続の状況				
(8)		燃料及び冷却水の漏洩の状況				
(9)		計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況				
(10)		自家用発電装置の取付けの状況				
(11)		給排気の状況（屋内に設置されている場合に限る。）				
(12)		接地線の接続の状況				
(13)		絶縁抵抗				
(14)		自家用発電装置の性能				
(15)		電源の切替えの状況				
(16)		始動及び停止の状況				
(17)		音、振動等の状況				
(18)		排気の状況				
(19)		コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況				
7	上記以外の検査項目等					

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の4様式第二面12欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表第三(ろ)欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第三(ろ)欄に掲げる検査事項について同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 2(3)「照度」については、非常用の照明装置の照度測定表(別表4)を添付してください。
- ⑪ 7「上記以外の調査項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が検査項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により検査の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した検査項目等又は第2第2項に規定する図書に記載されている検査項目等を追加し、⑥から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、7は削除して構いません。
- ⑫ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を( )書きで記入してください。
- ⑬ 要是正とされた検査項目等(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

別表1 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（A4）

測定年月日	令和6年11月19日	測定機器 メーカー名	TOPTES		型式番号等	TS-301
階	室名*注1	必要換気量 (m3/h)	換 気 方 式	換気設備機種名*注2	換気状況の評価*注3	判 定
1	事務室	275	一種・二種・三種	空調換気扇	424m3/h	指摘なし・要是正
1	審判室	109	一種・二種・三種	天井埋込換気扇	137m3/h	指摘なし・要是正
1	医務室	98	一種・二種・三種	天井埋込換気扇	114m3/h	指摘なし・要是正
1	ロビーホール1	195	一種・二種・三種	天井埋込換気扇×2	565m3/h	指摘なし・要是正
1	ロビーホール2	195	一種・二種・三種	天井埋込換気扇×2	574m3/h	指摘なし・要是正
1	ロビーホール3	195	一種・二種・三種	天井埋込換気扇×2	596m3/h	指摘なし・要是正
1	ロビーホール4	195	一種・二種・三種	天井埋込換気扇×2	622m3/h	指摘なし・要是正
2	会議室1	234	一種・二種・三種	天井埋込換気扇×2	520m3/h	指摘なし・要是正
2	会議室2	234	一種・二種・三種	天井埋込換気扇×2	578m3/h	指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正

注1) 中央式空調設備などで、複数室の外気取り入れをまとめて行い、それらを一括して評価する場合は、まとまりを構成する複数の室名を記入する。

注2) 室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。

注3) 換気状況の評価欄には、外気取り入れ口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。

これに代わる方法として以下の確認等を行った場合には、その結果を記入する。

- ・各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する。
- ・外気取り入れ送風機の電流値を測定し、定格値と比較して矛盾がないか確認する。
- ・中央制御盤等で、取り入れ外気量のモニターを行っている場合には、その計測結果に問題がないか確認する。
- ・個別の換気設備では、その運転状況、フィルターが目詰まり状況、清掃状況などの目視確認を行い、問題点がないか確認する。

別表 4 非常用の照明装置の照度測定表 (A 4)

測定年月日	令和6年11月19日		測定機器 メーカー名	URCERI	型式番号等	MT-912
光源の種類	最低照度の測定場所		最低照度 (lx)		判定	
	階	部屋・廊下等				
白熱灯	1	事務室	1.8		指値なし・要是正	
蛍光灯					指値なし・要是正	
高輝度放電灯					指値なし・要是正	

(別紙)

階 別	測定場所	測定位置 <sup>*注1</sup>	光源の種類 <sup>*注2</sup>	照度 (lx)
1	事務室	北東	白熱灯 (内)	1.8
1	エントランスホール	EV前	白熱灯 (内)	8.2
1	医務室前廊下	出入口付近	白熱灯 (内)	10.8
1	ロッカールーム前廊下	中央	白熱灯 (内)	18.4
2	会議室	南西	白熱灯 (内)	16.6
2	ホール	南西	白熱灯 (内)	14.3
2	多目的室	中央	白熱灯 (内)	6.9

注 1) 測定位置欄には、例示として次のように「出入口付近」、「右壁中央付近」等と明記する。

注 2) 光源の種類欄には、白熱灯、蛍光灯、高輝度放電灯の別及び電池内蔵のものにあつては、(内)と付す。